

研究構想シート		学校名	安来市立宇賀荘小学校
		氏名	藤田玲子
A 研究主題		互いに認め合い、なかまと共によりよく生きようとする子どもの育成 ～子どもが自ら気づき、考える理科・生活科の授業づくりを通して～	
B 研究の目的		子どもが自ら気づき、考える理科・生活科の授業づくりを通して、自分の考えをもち、表現したり、友達と関わりながら自らの考えを深めたりするための手立てや工夫について明らかにする。	
C 子どもの実態 ・優しく素直である。場に応じた挨拶や言葉遣いができ、掃除も一生懸命取り組む。 ・上学年はリーダーとしての意識が高く、下学年を手助けしたり、教えたりする姿が自然と見られる。 ・友達の話をよく聞き、学習に真面目に取り組む。 ・友達の意見に同調し、新しい考えや別の意見が出にくい。 ・理科的の視点からの状況把握するためアンケート実施	E 手立て・内容（研究仮説） ○ 理科・生活科の見方・考え方を働かせながら、子どもが自ら気づくことができるような単元の構想を工夫すれば、子どもは自分の考えをもつことができるであろう。 ○ 自分の考えを表現したり、友達の考えを聞き、比較・検討したりすることができるような場の設定を工夫すれば、自らの考えを深めることができるであろう。		D めざす子どもの姿 ○自ら気づき、考える子 ・理科・生活科の見方・考え方を働かせながら、自分の考えをもつことができる子ども ○友達と伝え合う子ども ・自分の考えを表現したり、友達の考えを聞き、比較・検討したりする子ども ○学びを生かそうとする子 ・理科・生活科の見方・考え方を働かせながら自然事象に関わろうとする子
	F 研究方法 ・ 理科・生活科の見方・考え方の捉え方を共通理解する。 ・ 子どもが自ら気づくことができるよう単元の構想を工夫する。 ・ 自分の考えを表現したり、友達の考えを聞き、比較・検討したりするための手立ての工夫		
	G 研究計画 ○5月16日子どもの実態、課題について全職員で話し合い ○6月研究の方法、手立てについて全職員で話し合う ○2学期授業研究 ○3学期授業研究 ○3学期授業研究の振り返り		

